

# 令和5年度和泉市 交換学生派遣事業報告書

2023年8月11日～8月21日



和泉市教育委員会

# 目 次

メンバー紹介	.....	1
スケジュール	.....	2～6
交換学生の体験記		
山崎水咲子	ブルーミントン市での思い出	7・8
正木莉杏南	私がブルーミントン市で学んだこと	9・10
田中 寧々	充実した10日間	11・12
月安 香実	10日間を通じて	13・14
植野穂乃花	違いの魅力	15・16
井元 佑志	令和5年度和泉市交換学生派遣事業	17・18



## メンバー紹介



山崎 水咲子  
MISAKO YAMAZAKI  
北池田中学校



正木 莉杏南  
RIANNA MASAKI  
北池田中学校



田中 寧々  
NENE TANAKA  
石尾中学校



月安 香実  
KONOMI TSUKIYASU  
北池田中学校



植野 穂乃花  
HONOKA UENO  
北池田中学校



井元 佑志  
YUSHI INOMOTO  
光明台中学校



大橋 敏宏  
TOSHIHIRO OHASHI  
随行・北池田中学校校長



田熊 あず沙  
AZUSA TAGUMA  
随行・和泉市生涯学習推進室

## スケジュール (8/11 ~ 8/13)

月 日	内 容 等
8月 11日 (金)	<p>関西国際空港集合            関西国際空港出発 ANA990便            羽田空港到着            羽田空港出発 DL120便</p>  <p>ミネアポリス・セントポール国際空港到着            ホストファミリーと対面、解散</p>  <div data-bbox="959 779 1414 936" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>空港でホストファミリーやブルーミントン市姉妹都市委員会のみなさんが温かくお出迎えしてくれました。</p> </div>
8月 12日 (土)	<p>●ホストファミリーと過ごす</p>
8月 13日 (日)	<p>●ブルーミントン市姉妹都市委員会 (BSCO) 主催 コミュニティピクニック</p>     <div data-bbox="432 1906 1398 2047" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>BSCO (ブルーミントン市姉妹都市委員会) 主催のコミュニティピクニックに参加しました。ブルーミントン市の人だけでなく、近隣市の方も参加してくれたり、現地の方がたと広く交流しました。</p> </div>

# スケジュール (8/14)

月 日	内 容 等
8月 14日 (月)	<p>●市役所、消防署、警察署など見学</p>  <div data-bbox="1102 645 1442 860" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>市役所の建物内には、ローカルテレビの本格的な撮影スタジオがあり、日本では見られない設備に興味津々の様子</p> </div>
	<p>●TOROカンパニー見学</p> 
	<p>●モール・オブ・アメリカ バックヤードツアー</p>  <div data-bbox="587 1720 1230 1832" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>モール・オブ・アメリカを案内してくれたスタッフの方に、和泉市の記念グッズをプレゼントしました。</p> </div>

## スケジュール (8/14 ~ 8/16)

月 日	内 容 等
8月 14日 (月)	<p>●市議会訪問【学生による和泉市や日本についてのプレゼンテーション発表】</p>  <p>プレゼンテーションの発表前に緊張した面持ちの学生たち</p> <p>派遣前から時間をかけて準備したプレゼンテーション。堂々とした発表で、現地の方がたからも盛大な拍手と絶賛の声をいただきました。</p> <p>より多くの人に和泉市や日本について知ってもらえるよう、プレゼンテーションの発表内容を紙にまとめたものをプレゼントしました。</p>
8月 15日 (火)	<p>●シャコピー市へ The Landing（歴史的建造物が複数建っている野外施設）見学</p>  <p>●Valley Fair（アミューズメントパーク）</p> 
8月 16日 (水)	<p>●センチニアル湖 散策（ボートなど）</p> 

# スケジュール (8/16 ~ 8/17)

月 日	内 容 等
8月 16日 (水)	<p>●モール・オブ・アメリカで自由時間 (ニコロデオン・ユニバース、水族館など)</p>   <p>●全員で夕食 (モール・オブ・アメリカ内「Rainforest Café」)</p> 
8月 17日 (木)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>●ミネソタ歴史センター見学</p>   </div> <div style="width: 48%;"> <p>●州議事堂見学</p>     </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p>●サイエンスミュージアム見学</p>    </div> <div style="width: 48%;"> <p>●野球試合観戦 (セントポール・セインツ vs インディアナポリス・インディアンズ)</p>  </div> </div>

# スケジュール (8/18 ~ 8/21)

月 日	内 容 等
8月18日 (金)	<p>●ノーマンデル・コミュニティ・カレッジ、日本庭園訪問</p>   <p>●ケネディ高校訪問</p>     <p>ケネディ高校での日本語授業用に、日本語で自己紹介や会話をして教材作りのお手伝いをしました。</p> <p>●ミネアポリス芸術協会見学</p>  <p>●ミネハハ滝散策</p>  
8月19日 (土)	●ホストファミリーと過ごす
8月20日 (日)	<p>ミネアポリス・セントポール国際空港出発 DL121便</p> <p>日付変更線通過</p> <p>8月21日 (月)</p> <p>羽田空港到着 羽田空港出発 ANA97便 関西国際空港到着・解散</p>  <p>帰国の日。 10日間共に過ごしたホストファミリーたちと別れを惜しみながら、ブルーミントン市を出発しました。短い期間でしたが、多くの人から温かいおもてなしと歓迎を受け、様々な体験ができた貴重な10日間となりました。</p>

# ブルーミントン市での思い出

山崎 水咲子

MISAKO YAMAZAKI

私は、2023年8月に約10日間、和泉市の姉妹都市であるアメリカミネソタ州ブルーミントン市を、和泉市交換学生代表団の一員として訪問しました。

2023年は、姉妹都市提携締結30周年という節目になる記念すべき年になります。その貴重な時期に、交換学生として訪問させていただき、ブルーミントン市の方々と交流することができたことを、とても嬉しく思います。改めて、ここに感謝を申し上げます。



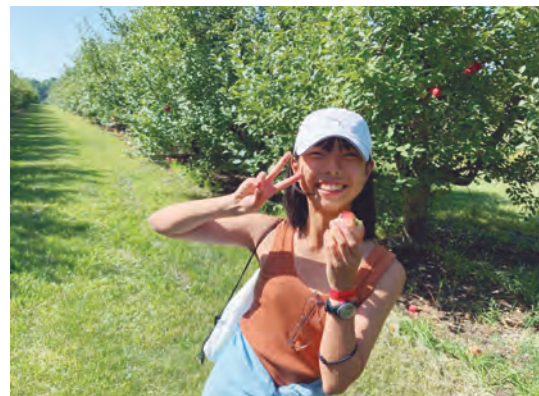
ブルーミントン市滞在中は、姉妹都市委員会の方々との交



流をはじめ、警察署や高校、歴史館や芸術協会などを見学したり、野球観戦をし

たり、テーマパークへ行ったり、全米最大級のショッピングモールであるモールオブアメリカでショッピングを楽しんだりなど、色々な体験をさせていただきました。どれもとても楽しく、充実した毎日を過ごしました。

また、はじめてのホームステイ生活には不安もありましたが、優しいホストファミリーのおかげで、すぐに馴染むことができました。ホストファミリーが空港で私を笑顔で迎えてくれたとき、胸を打たれたのを今でも思い出します。ホストファミリーと一緒に過ごした時間は、本当に楽しくて、幸せだったなと感じています。特に、一緒にりんご狩りをしたことは、この10日間で一番の思い出です。

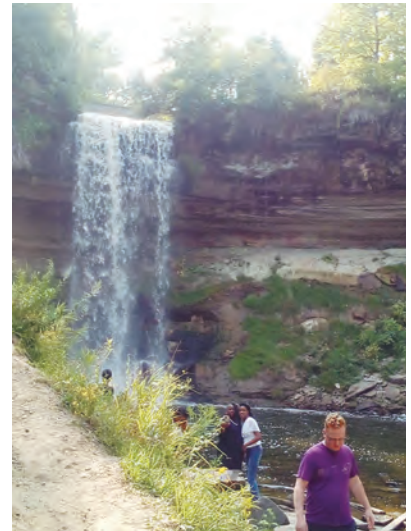






この滞在で、特に印象に残ったことは二つあります。

一つ目は、自然の豊かさです。湖でボートを漕いだり、滝を散策したりするなど、自然にふれる機会が多くありました。それらはとても広大で、息をのむ美しさに、胸が高鳴ったのを思い出します。そのような景観も、人の手によって日々管理され、守られているのだということを知りました。私も、身近にある自然を敬う姿勢を大切にしていかなければならないなと感じました。



二つ目は、ブルーミントン市の人々の優しさやあたたかさです。私たちは、ホストファミリーだけでなく、姉妹都市委員会のの方々をはじめとする、たくさんの方々と交流しました。

今回の滞在を楽しむことができたのは、ブルーミントン市の方々が皆とても親切で、フレンドリーに明るく話しかけてくれたり、現地のことを分かりやすく教えてくれたりしたおかげだと思います。日本とアメリカでは、おかれている環境や文化が異なります。しかし、ブルーミントン市の方々がそうであったように、たとえ国が違って、相手のことを尊重し、大切にできるような心を育てていきたいです。



和泉市の方々、ブルーミントン市でお世話になった方々、そして代表団のみんなのおかげで、素敵な思い出をたくさん作ることができましたし、アメリカやブルーミントン市のことをたくさん学ぶことができました。この経験を、これからの自分の人生に生かし、将来は世界で活躍できるような人になりたいと思います。本当にありがとうございました。



# 私がブルーミントン市で学んだこと

正木 莉杏南

RIANNA MASAKI

今回の和泉市・ブルーミントン市の姉妹都市交換学生派遣事業プログラムで、私はたくさんの事を学べたと思います。交換学生派遣事業に選ばれたと知った時は、すごく嬉しかったです。小さい時からずっとアメリカに行ってみることが夢だったので、憧れの場所へ行けると知って、とてもワクワクしていました。今回の派遣は私にとって本当に重要で良い人生経験になったと思います。プレゼンテーションの準備からブルーミントンへの旅行まで、プログラムのいろいろな部分が楽しかったです。ブルーミントンのこと、アメリカのこと、そして和泉市のことまで、たくさん学ぶことができました！この報告書では、私が見て、経験し、考え、学んだたくさんの事の中から、いくつかを伝えたいと思います。

まず最初に、毎日の予定中に訪れたいいくつかの場所についてです。

一つ目は、Minnesota Historical Society History Center です。

私は歴史館に行くと聞いて、ガラスの中に模型などが展示されていて、長い説明文が壁にかけてある博物館のようなものだと思っていました。実際中に入ってみると、面白い展示物や、体験コーナーがあったりして、びっくりしました。昔のバスやティピーテントの実物大模型があって、中に入ることもでき、ダイナマイトで洞窟を爆発させる体験もしました。ネイティブ・アメリカンの人たちの生活、ヨーロッパから人が海を渡ってアメリカに移り住んだ時に起きた問題などについて、詳しく学ぶことができました。歴史館は、とても面白くて、楽しかったです！たくさん重要なものを見て、学ぶことができたと思います。



実際にセントポール市内を走っていた昔のバスの模型

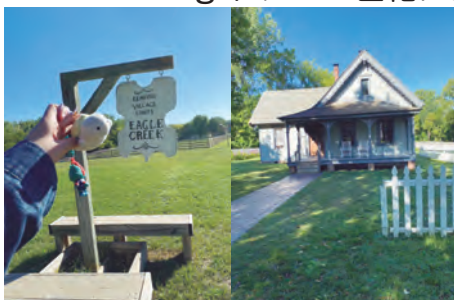


お洒落なバー(?)も展示されていました



ネイティブ・アメリカン衣装の展示

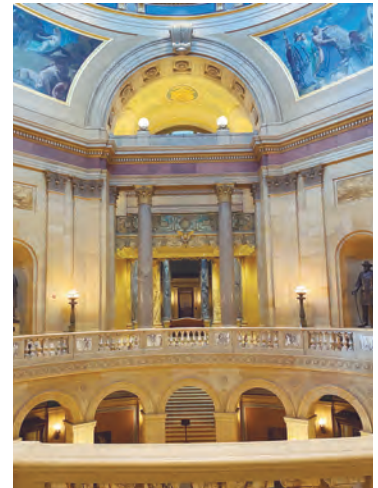
The Landing という昔の家やお店、学校などの古い歴史的建造物がたくさん集まって展示されている場所もとても面白かったです。そこに行く前の朝、ホストファミリーに The Landing や、19世紀アメリカについて少し教えてもらっていたので、さらに楽し



かったです。本当に何世紀も前のアメリカの村を歩いているみたいで、見たことのないものがたくさんありました。ディスプレイの窓から家の中を覗き込んで、そこに住んでいたときのことを想像したりして、本当に楽しかったです。豚や鶏などの動物も飼われていて、とっても可愛かったです。



もうひとつ気に入ったのは、ミネソタの州議事堂です。ツアーガイドの方が建物の建築の意味や裏話、装飾の意味などについて説明してくれました。とても精巧で綺麗な建物に、建築家のキャス・ギルバートが加えた、すごくカッコいい仕掛けがありました。私のお気に入りの仕掛けは、最初に入った所にあったガラスの北極星のシンボルです。下の階で重要な会議が開かれてる時は、電気が付いているのでガラスが光るそうです。州議事堂はただ見た目がカッコいいだけでなく、その背景にたくさんの意味や歴史があって、たくさんの人の努力と知恵が重なって、修復などを重ねて今の綺麗な状態にあるんだと思いました。



次に、私が気付いた日本とアメリカの相違点についてです。

私が一番大きな違いを感じたのは、人と人との接し方の違いです。アメリカのほとんどの人は、日本のほとんどの人よりもフレンドリーで社交的だと思います。それに近所の人との付き合いが多かったり、地域で何かイベントなどをするとき、コミュニティの一員として参加している人が多かったと思います。これは、建物の作りや並び方などが関係していると思います。例として、私が見つけた二つの日本との違いを挙げます。

一つ目は、円形に家が並んでいることです。実際にホストファミリーの家がそういう並びだったのですが、道が丸くなっていて、その円を囲むように家が数軒建っていて、それぞれの家の玄関が円の中心を向くようになっている地域が多かったです。その円は行き止まりで、そこにある家に用事がある車以外の立ち入りは少なかったのも、子供たちがそこで遊んだりすることも多いそうです。お互いの家が見えて、近所の人と交流しやすいので、社交的で、地域イベントに参加する人が多いと思いました。

もう一つは、市役所や博物館などの公共施設にあるドアが、自動ドアではなくて、手動であけるドアになっていたことです。最初は自動ドアじゃないと不便で使いにくいと思っていましたが、もしかしたらわざと手動のドアにしているのかも知らないと思いました。なぜなら、施設を利用する人たちはお互いにドアを開けあったりして、ドアを開けてもらった時には「ありがとう」と言ったりするので、自然と会話がはじまります。私は、人々がお互いに助け合ったり協力しながら、関わりを持って使用できるように、ドアを手動にしてあると思いました。

このような工夫があるのも、社交性や協調性の高い人が多い理由なのかもしれません。

私は今回のブルーミントン市への派遣事業で、たくさんの大切なことを学べたと思います。とても素敵なホストファミリーに出会えたり、お友達もできて、すごく良い経験になったと思います。少しスケジュールがつめつめだったので、今度はもっとゆったりとした感じで、またみんなに会いに行きたいと思いました。

今回の姉妹都市交換学生派遣事業に参加できて、とても嬉しいです。今後も学んだことや経験したことを活かして生きていきたいです。ありがとうございました。

# 充実した10日間

田中 寧々

NENE TANAKA

この夏、私は10日間の交換留学でブルーミントン市へ行きました。出発前からアメリカ行きが待ち遠しく、アメリカに向かう飛行機の中でも、ずっと現地のことを考えワクワクしていました。

長時間のフライトを経てようやくミネアポリス国際空港に到着すると、大勢の人々が私達を暖かく迎えてくれました。その中に、『Welcome Nene』と書かれたボードを持つホストファミリーを見つけ、長時間のフライトの疲れが一気に吹き飛ぶと同時に、いよいよアメリカでの留学生活が始まるのだと実感が湧いてきました。

アメリカに到着した初日、ピザパーティーを開いてくれて、歳が近いホストファミリーの姉妹と私はすぐに意気投合し、まるで三姉妹になったようでした。

滞在中、ホストファミリーやその友達との交流を通じて、英語でのやり取りを楽しむだけでなく、様々な経験をさせてもらいました。人生初のジェットスキーや翻訳なしでの映画鑑賞に挑戦したことは、よい思い出です。また、ホストファミリー以外にも、アメリカでの友達ができたことがとても嬉しかったです。

ブルーミントン市は、事前に調べていた通り自然豊かな街で、私が連れて行ってもらった湖以外にも、たくさんの綺麗な湖や森が広がっていました。気候も良く、車の窓から入ってくる風も空気が澄んでいて気持ちよかったです。

さらに、今回の留学では、モールオブアメリカのバックヤードや、Toro companyの社内など、普段立ち入れない場所を見学できたり、本場のアメリカンフードやメキシカンフードを食べたり、現地の絶叫マシンも体験しました。

なかでも、州議事堂見学と市役所でのプレゼンテーションは特別な経験でした。州議事堂は、建物の規模がとても大きく、至る所に華麗な装飾が施されており、高い天井は模様もすごく綺麗でした。プレゼンテーションは何度も練習したおかげで、緊張や大きなミスもなく、ベストを尽くせたと思います。たくさんの人に私達のプレゼンテーションを褒めてもらうことができ、とても嬉しかったです。

長いと思っていた留学期間もあっという間に過ぎ、最終日。ホストファミリーが「飛行機は寒いから。」と、空港へ向かう途中、ピンクのパーカーを買ってくれました。その気遣いと優しさに強く心を打たれました。それと同時に、今日でホストファミリーと過ごすのが最後なのだという悲しさもありました。空港では、搭乗口に入る最後の最後まで別れを惜しんでホストファミリーと肩を抱き合いました。日本に帰りたくないくらい毎日が楽しく充実していました。

滞在中、会話の中で理解できない表現があった時も、現地の人々が嫌な顔をせず、易しい表現に言い変えてくれるなど、異なる言語を話す私達にも優しく接してくれたおかげで、積極的にコミュニケーションをとることができました。

また、現地の人々とのコミュニケーションを通して感じた日本との違いは、各々が自分の意見をしっかりと持っており、自信を持って主張することができていた点です。とても



素晴らしいところだと思いました。

私も、誰にでも親切に接し、自身の考えをしっかりと持てるような人間になりたいと思います。

今回の経験を通し、以前から抱いていた高校留学への思いがより強くなりました。そして、その夢を実現するためには英語力の向上など、もっと沢山の努力が必要なのだと痛感しました。この留学で培ったチャレンジ精神を活かし今後も新たなチャレンジを続けていきたいです。



# 10日間を通じて

月安 香実

KONOMI TSUKIYASU

私は8月11日から21日までミネソタのブルーミントン市に滞在しました。アメリカに行くのは初めてだったので不安もありましたがとても充実した10日を過ごすことができましたと思います。今回の滞在で心に残ったことは3つあります。

1つ目はホストファミリーとの生活です。私は家族と10日間も離れたことがなかったのでホームシックにならないか、ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるか本当に不安でした。しかし私のホストファミリーはとても優しく、英語がわからなかったときも優しく教えてくれました。ホストファミリーとはファーマーズマーケットに行ったり、市役所にあるシアターで劇を見たりしました。そして1番楽しかったのは毎日の夕食作りです。私は料理が好きなので料理上手のホストマザーと毎日夕食を作りました。夕食を作りながらホストマザーとおしゃべりする時間は本当に楽しかったです。

ブルーミントンには市のコンポストがあり、生ゴミだけを集めてコンポストに捨て、肥料にするということもそのときに教えてもらいました。私も日本にいる時から家庭用の小さいコンポストが欲しいなと思っていたので市にコンポストがあるのは、ゴミの削減につながるのととてもいい取り組みだなと思いました。10日間で一緒に作った中ではチリという牛ひき肉を煮込んだ料理がとても美味しかったです。ショートケーキも作ったのですが日本のショートケーキとは違い、ビスケット生地のものでおもしろいなと思いました。そして私はホストファミリーとホストファミリーの娘さんご家族にお好み焼きを振舞いました。気に入ってもらえてよかったです。日本に帰ってからもメールや手紙でのやり取りを続けています。以前ホストファミリーが近所のお友達とお好み焼きを作ったときの写真を送ってくれました。材料を揃え、頑張ってくれたと思うと本当に嬉しく、それだけ気に入ってもらえて作った甲斐があって良かったなと思いました。私も日本に帰ってから、祖父母と家族にチリを振舞ったことを連絡すると喜んでくれました。これからもずっと連絡を取り続けていきたいと思っています。





2つ目は豊かな自然です。特に私はセントニアル湖とミネハハ滝、ホストファミリーと行ったノーマンデール湖が気に入りました。それらの周りにはたくさんの植物があり、とてもリフレッシュできました。家の周りなどにもたくさんの自然や公園があつたりして気持ちよかったです。あの豊かな自然を保っている市民の皆さんの力があってこそその美しい自然なのだなと感じました。



3つ目はとても貴重な経験をしたことです。市役所の議会でプレゼンテーションをしたり、モールのバックヤード見学、警察署や消防署などの機関の見学と日本でもなかなかできない経験をしました。特に議会でのプレゼンテーションは長い時間をかけて一緒に行ったメンバーで作り上げてきたものなのでとても緊張していましたが日本のこと、和泉市のことを知ってもらえたようだったので安心しました。10日間、このほかにも本当にたくさんの経験をさせていただきました。

今回の派遣で素晴らしい機会を与えてくださった和泉市の皆様、現地でたくさんの経験をさせてくださった姉妹都市委員会の皆様、そして10日間を共に過ごした引率のお2方と5人のメンバー、本当にありがとうございました。今回、たくさんのことを吸収し、外国への見方がガラッと変わったと思います。もともと外国は怖く、遠い存在だというイメージが強かったのですが今回の経験でとても身近に感じることができました。これから今回の派遣のような、外国に行く機会があれば迷わずに行きたいと思います。そのような気持ちを作ってくれたのはこの10日間のおかげです。日本に帰ってきてから私の友達や家族に今回学んだことをたくさん伝えています。これからも続けていきたいと思っています。

この経験を通しこれからは和泉市とブルーミントン市に留まらず日本とアメリカの架け橋となれるような行動をしていきたいと思っています。



# 違いの魅力

植野 穂乃花

HONOKA UENO



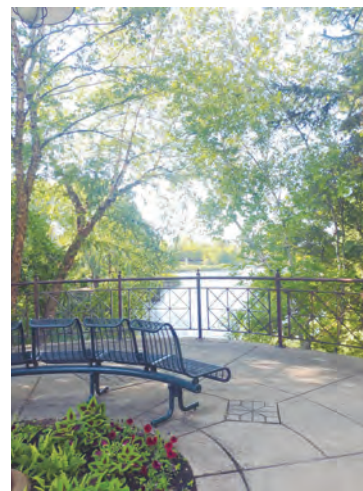
私は和泉市の交換学生派遣事業に参加できることが決まったとき、とても嬉しかったのと同時に少し怖さがありました。初めての海外や、言語も文化も違うところで上手くやっていけるのだろうかと不安でした。でも、この経験は私を強くしてくれ、新しい価値観や考えをくれたとても貴重なものになったなと感じています。

私がこの10日間を乗り越えられたのはアメリカへの派遣を共にした仲間がいたからです。和泉市のPRの準備や、11時間以上のフライト、体調を崩してしまったときに助け合ったことなどこのメンバーでないと乗り越えられなかったことばかりです。本当に感謝しています。

私はブルーミントンが大好きになりました。

自然がとても豊かで、優しい人たちでいっぱい素敵な場所だと思ったからです。とくに、センテニアル湖がお気に入りで。緑の木々やきれいなお花、美しい湖などたくさんの自然に囲まれてリラックスできました。

他にも、ショッピングモールのなかに遊園地や水族館があるモール・オブ・アメリカや、大きな病院、コストコなどの大型スーパー、美術館などが近くに集まっていて、とても住みやすく便利な街だなと感じました。



そして、ブルーミントンの方の優しさ、温かさに感動しました。

英語が上手く話せない私達を快く受け入れてくださり、たくさんお話できたのでとても嬉しかったです。素敵な友達もできました。スーパーのレジの方や道で出会った方などみなさんが話しかけてくれてフレンドリーな方でいっぱいだったなという印象があります。日本でも、みんなが当たり前のように挨拶を交わしたりコミュニケーションを取るようになればいいなと思います。







ホストファミリーとの時間も私の宝物です。アメリカでの生活に慣れない私と真摯に向き合ってください、家族のように接してくれました。私にとって第2の家族のような存在です。言語も考え方もライフスタイルも違



うけれど、同じことを同じように楽しみ、互いに分かち合えることを自分で確かめられたと思います。家族そろって映画を見たり、ご飯を食べて話をしたりいつもの日常を過ごさせてもらいました。双子と手をつないで散歩や買い物に行ったことも忘れられません。家族での時間をとても大切にされていて素敵だなと感じました。



アメリカでの10日間は、一言では表せないくらいたくさんの経験や発見をし、私に新しい価値観をくれました。コミュニケーションの大切さを身をもって感じました。言葉じゃなくて、伝えようとする気持ちが大事です。それは友達や家族とでも同じだと思います。これからもコミュニケーションを大切に人との出会いやつながりを増やしていきたいです。日頃の悩みや不安がちっぽけだなと思えるくらい、人の心も世界も大きいなと感じました。文化が違ったとしても同じように楽しんだり共感しあえることを自分で確かめることができたと思います。

生活が違ったり、ルールやマナーの違いに戸惑うこともありましたが、違いがあることがおもしろいし、アメリカの魅力でもあると思います。これから先も、日本とアメリカの魅力を感じあって、もっともっと良い交流ができるようになればいいなと思います。



# 令和5年度和泉市交換学生派遣事業

井元 佑志

YUSHI INOMOTO

今夏僕は、和泉市学生派遣団としてアメリカ合衆国ミネソタ州にある姉妹都市、ブルーミントン市を訪問しました。

関西空港から羽田空港を経由してミネアポリス国際空港までは約11時間のとても長い道のりでしたが、到着時には疲れも吹き飛ばすくらいの盛大な歓迎を受け、現地の方の温かさを感じました。次の日から優しいホストファミリーと大きな湖でジェットスキーをしたり、泳いだりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。また、現地の姉妹都市委員会の主催で交流を深めるコミュニティピクニックもあり、ここでは日本の盆踊りを踊っていただいたりして、フレンドリーな皆さんと心を通わすことができました。

三日目には、日本での研修時から準備していた和泉市のPRをブルーミントン市議会にて行いました。スライドの準備など大変なこともありましたが、最後には会場総立ちのスタンディング・オベーションを受け、とても素晴らしい経験になりました。

また、野球観戦をした際にはみんなで大きな声で応援したり、歌ったり、時にはブーイングもありました。また、日本より選手との距離が近かったことにも驚きました。

他にも、現地の遊園地では、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンよりも大きなジェットコースターや大きなスライダーのあるプールなど様々なアトラクションがありとてもいい思い出になりました。

別の日には、外国から入ってきたヨーロッパの国などの伝統的な家や文化を学べる公園にも行くことができ、アメリカだけでなくたくさんの国の文化を学ぶことができました。

ブルーミントン市は、芸術などにも力を入れていて、市役所の壁など様々なところにアート作品が展示されていました。和泉市とも、子供の絵画の交換など様々な活動をしています。

また、全米最大級のショッピングモール、モール・オブ・アメリカにも行きました。ここには遊園地、水族館、500を超える店舗があり、ららぽーと和泉の2倍以上の店舗があります。特にすごいのが、中にある遊園地と水族館です。遊園地ではたくさんのジェットコースターや絶叫系までありとても充実していました。水族館もサメや亀、見たこともない魚まで見ることができました。



市議会でのプレゼン



モール内の遊園地



ミネソタ州にはたくさんの滝と1万を超える湖があり、ジェットスキーやカヌー、ボートなど様々な楽しみがあります。



ミネハハ滝

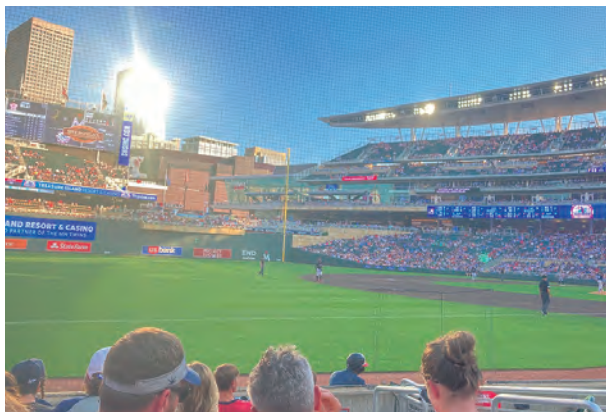


ピクニック

中でも印象に残ったのが、関わっていただいたすべての人がとても親切に接してくれたことです。お話をすることでこれまでの両市の交流、日本の文化など様々な会話ができました。

今回の派遣で僕は、いろいろな考え方、価値観やアメリカの方の優しさ、温かさ、寛容さなどを学びました。これらのことをこれからの生活において生かしていきたいと思います。

最後に、今回の派遣に協力いただいた和泉、ブルーミントン両市の方、姉妹都市委員会の方、そして何より僕たちを受け入れてくれたホストファミリーの皆さん、派遣学生のメンバーのみんな、今回は本当にありがとうございました。また、これからの両市の交流にも積極的に参加していきたいと思います。本当に素敵な経験をありがとうございました。



ミネソタ・ツインズ VS ピッツバーグ・パイレーツ  
@ Target Field



セントポール大聖堂



ブルーミントン市長 Tim Busse 氏と、ブルーミントン市庁舎内の議場にて



令和5年度和泉市交換学生派遣事業報告書

発行日：令和6年（2024年）1月

発行：和泉市教育委員会

編集：和泉市教育委員会生涯学習部生涯学習推進室

住所：〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号

電話：0725-99-8161（直通）

FAX：0725-41-0599

